

令和 3 年度 第 1 回 北海道支社入札監視委員会審議概要

開催日及び場所	令和 3 年 8 月 2 0 日 (金) 北海道支社 3 階会議室	
委員 (五十音順、敬称略)	杉山 隆文 (北海道大学大学院工学研究院教授) 田村 亨 (北海商科大学教授) 富岡 公治 (弁護士) 舟橋 健市 (公認会計士・税理士) 山本 哲生 (北海道大学大学院法学研究科教授) 吉見 宏 (北海道大学理事・副学長)	
審議対象期間	令和 2 年 1 0 月 1 日～令和 3 年 3 月 3 1 日	
抽出案件	総件数 6 件	備 考
○工事	4 件	
・ 一般競争	1 件	・ 道央自動車道 大谷地地区橋梁リニューアル工事
・ 条件付一般競争	1 件	・ 道央自動車道 札幌 IC～奈井江砂川 IC 間舗装補修 工事
・ 拡大型指名競争	1 件	・ 帯広管理事務所管内 ETC 設備更新工事
・ 随意契約	1 件	・ 札幌自動車道 発寒高架橋遮音壁改良工事
○調査等	1 件	・ 道東自動車道 下トマム地区地質調査
○物品・役務	1 件	・ 北海道支社除雪車用高精度 GNSS・INS ハイブリッドシステム購入
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	な し	

意見・質問	回答
<p>【令和2年度第2回入札監視委員会審議概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見等なし <p>【入札監視統一事務局の報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見等なし <p>【入札・契約手続きの運用状況】</p> <p>「工事等業務の発注状況」</p> <p>「競争参加資格停止等の運用状況」</p> <p>「一次苦情及び一次説明処理状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見等なし <p>【抽出事案の審議】</p> <p>「道央自動車道 大谷地地区橋梁リニューアル工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加表明は4者あり、1者は書類の不備で結果3者となったとのことであるが、書類の不備が確認された段階ですぐに不適合となってしまうのか。 ・今回の大谷地地区橋梁リニューアル工事については、高架区間であり難工事であるということで新たな発注方式で発注されたと思うが、残りの同じような条件の区間についても今回と同様の発注方式で発注するのか。 ・本工事では高架区間の上下線の間空間部分を拡幅して工事中は車線として運用するとの説明があったが、工事が完成した際には拡幅した部分は撤去する予定なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当社が求めた条件を証明できる書類が添付されていない場合は書類不備として不適合としております。書類の再提出等を認めた場合には他の参加表明者との公平性が確保できないことから、今回のような判断とさせていただきます。 ・残りの同じような条件の区間についても、全体で3件の発注を行う形で、同程度の規模、同様の発注方式で既に1件発注手続きを進めております。残り1件予定しておりますが、こちらも同規模、同方式で発注するべく発注見通し公表を行っております。 ・現段階で確定しているものではありませんが、基本的にはそのまま残すことを考えています。通常車線として使用するのには段差等があり難しいが、空間としては使用できますので、将来同様の取替が生じた際に今回と同様に一時的な車線として使用したり、冬期の排雪の際に有効活用するなどを考えております。

<p>「道央自動車道 札幌 IC～奈井江砂川 IC 間舗装補修工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本工事の技術提案等に対する技術評価で、施工の円滑性の中に災害時の協力実績について評価対象となっているが、施工の円滑性と災害時の協力がどのように結びつくのか説明してほしい。 <p>「帯広管理事務所管内 ETC 設備更新工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回、ETC 設備工事の施工実績を踏まえて 14 者を指名したとのことであったが、例えば北海道全体でのシステムの統一性などは必要のない事業なのか。 <p>「札幌自動車道 発寒高架橋遮音壁改良工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本工事における遮音壁の改良については、特殊な内容のものなのか。施工可能な事業者は一定程度居るような内容なのか。 ・今回は不落随意契約の手続きで交渉順位を 1 次選定、2 次選定と分けたうえで抽選で交渉順を決めているとのことだが、選定の方法自体は公表されているものなのか。 <p>「道東自動車道 下トマム地区地質調査」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見等なし。 <p>「北海道支社除雪車用高精度 GNSS・INS ハイブリッドシステム購入」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本製品は、御社の自動運転に必要な仕様を伝えて開発してもらったものを購入したのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の協力実績を技術評価の評価対象としているのは、災害が発生し高速道路の復旧が必要となった場合の緊急時の体制について、協力実績があるということはそういった施工体制が日頃から取れていると考えられるため、そういったことが施工の円滑性にも繋がると判断し、災害時の協力実績を評価点数として評価しているものであります。 ・統一性などは必要ないと考えております。 ・当社としては、施工条件等多少は特殊な部分はありますが、申請する者にとってはそれほど特殊な内容ではございません。 ・選定の方法自体はあくまで会社内部での整理であり、公表はしておりません。 ・本製品はあくまで既製品で販売されていたものであり、本製品の仕様が我々の求める内容を満たして
---	--

	いたことから購入したものです。
【審議結果の報告】 ・入札方式別に抽出した6件の案件についての工事等の概要、業者選定理由、入札までの経緯の説明を受け、当委員会において審議したところ、適正に処理されていることを報告いたします。	